

神戸らしい都市景観をめざして ～景観形成重要建築物の指定～

神戸には、異国情緒豊かな近代洋風建築が多数存在するほか、西北神地域の農村集落や旧街道沿いの集落、茅葺民家、社寺仏閣、灘の酒蔵など、数多くの歴史的景観資源が残され、個性ある景観を形づくっています。

歴史・文化・地場産業等に育まれ、市民に愛され親しまれてきたこれらの建築物等は、地域固有の景観的魅力をあらためて認識させてくれます。また、それらの歴史的遺産を次の世代に伝承し、市民・事業者・行政が協力して保全・活用を図ることにより、地域の活性化や地域特性を生かしたまちづくりに大きく貢献することができます。

神戸市では、このような歴史的・建築的に価値が高く、市民に親しまれている建築物を、所有者の同意の

もとに指定し、まちづくりのかなめとして保全・活用しようとする「景観形成重要建築物」の制度を設けています。

このほど、この制度に基づく景観形成重要建築物として、11件の建築物が指定されました。いずれも神戸を代表するすぐれた建築物であり、地域のランドマークとして親しまれているものです。また、博物館や店舗、ギャラリーとして公開されているものも多いため、一度散歩のついでに立ち寄ってみてはいかがでしょうか。

なお、今回指定した11件の建築物を紹介するパンフレットを、こうべまちづくり会館1階で配布しています。

今回指定された景観形成重要建築物（平成12年3月29日指定）

- | | | |
|-------------|-----------|-----------|
| ・王子市民ギャラリー | ・神戸市文書館 | ・ホワイトハウス |
| ・神戸市立博物館 | ・旧居留地38番館 | ・海岸ビル |
| ・海岸ビルディング | ・兵庫県公館 | ・ファミリアホール |
| ・神戸市水の科学博物館 | ・石川ビル | |



王子市民ギャラリー



旧居留地38番館



海岸ビル

地域活動のアイデアをお寄せください!

みんなが安心して暮らせるまちをつくるためには、地域のつながりが大切です。

そこで、各種の地域団体、ボランティア団体、サークル・同好会などで取り組んでいる地域活動の『知恵・工夫・極意』を教えてください。

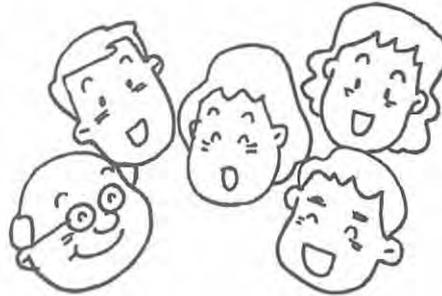
アイデアや工夫の具体例

イベントに参加する人を増やすために、子どもたちを集める工夫をしている。

まちの情報掲示板をお店の協力でみんなが集まる店先につくった。

まちの中の空き地に地域で管理する花壇を作り、みんなで世話をしている。

子どもだんじり祭りで、お母さん方の応援チームを作り、ふだんから仲良くしている。



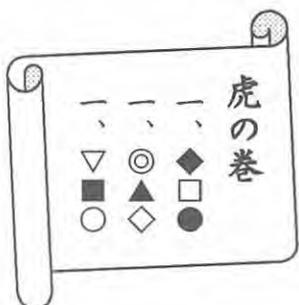
商店街の空き店舗をボランティアの方々に活用してもらっている。

我こそはという方は、ぜひ、住所・氏名・電話番号・活動内容などを明記の上、

6月30日(金)までに、FAXかE-mailで送っていただけませんか。(郵送でも可)後日、連絡して取材にお伺いさせていただくこともあります。

みなさんのアイデアは「安全で安心なコミュニティ活動の知恵100(虎の巻)」としてまとめます。

たくさんのご応募お待ちしております。



お問合せ先：神戸市役所 市民局 市民安全推進室 安全企画課

〒650-8570 神戸市中央区加納町6丁目5-1

TEL.078(322)6238 FAX.078(322)6031

E-mail: bosai@office.city.kobe.jp

複雑系とまちづくり (2)

【複雑系に至る道(続き)】

前回述べた、ニュートン以来の古典(線型)力学は、中世の西欧社会に機械論的な世界観をもたらした。例えば正確な時計の開発競争などが精密技術を発達させ、産業革命へとつながっていく。要素還元的手法が万能に見えた頃ともいえる。

これとは対照的に、蒸気機関など熱機関の研究から熱力学が生まれ、ボルツマンによって統計力学が打ち立てられた。これは、機械論に対する確率論の登場でもあり、エントロピーという訳の分からない物理量も出てきた。

機械論的世界観はすなわち、秩序の研究から複雑系へと至る道であり、確率論的世界観は、混沌の研究から複雑系に至る道であった。

アインシュタインは機械論者であり、確率論を基礎とする量子力学を死ぬまで信じなかった。でも、今や量子が、確率的に粒子として振舞ったり波として振舞ったりすることは常識である。

一般的に言って現代人の世界観は、真面目な人は、すべて機械論的世界観か宗教的世界観かのどちらかであり、少数の不真面目な(?)人間と、物理学者だけが、確率論的世界観の中で暮らしている。

もうひとつあった、戦後日本の気合論的世界観である。(成せば成る主義のこと)、冗談。

●機械論と確率論が出会う所

結局、'80代になって米国ニューメキシコ州ロスアラモス研究所(原爆を製造した所)で、今までの要素還元手法では解決できない自然科学・社会科学の問題を、すべての複雑な現象には何らかの共通点があるのではないかという視点から研究するため、サンタフェ研究所が立ち上がった。そこで、カウフマンやラングトンといった研究者が、パソコンを使って、セル・オートマトンについての研究を始めた。

セル・オートマトンとは、コンピュータ上の仮想の空間に、碁盤の樹目のように多数の要素を配置し、個々の要素は、 λ というパラメータを含む規則によって、自らの近傍の他の要素の状態をチェックして、それによって自分の状態を変化させるというものであり、ある要素の状態変化は次々と他の要素の変化を引き起こすような物理系である。

手計算では大変だが、パソコンを使えば、全体がどう推移していくかが簡単に観察できる。 λ を色々変えていくと、全体の推移の仕方も様々に変化することがわかった。

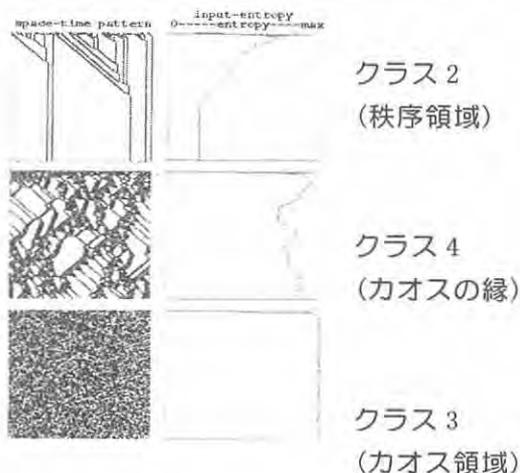
ラングトンの'87のサンタフェ人工生命学会での発

表では、規則パラメータ λ の値を変えていくと、要素全体の推移の様相は4つのクラス(パターン)に分類できることを示した。

- クラス1($\lambda=0$) : 全体状態の変化は生じない。
- クラス2($\lambda < 0.273$) : 当初の変化の後、定常的な状態に落ち着く。
- クラス3($\lambda > 0.273$) : ランダムな変化を永遠に続ける。
- クラス4($\lambda = 0.273$) : 複雑性がもっとも高い領域で、豊かな構造が次々と出現する。平衡状態に落ち着くことはなく、不断に変化する。

各クラスの状態遷移を、コンピュータグラフィックで表現すると、もっと人間の感性に訴えることができる。

下図ではクラスごとに、縦軸に時間を取り、時間経過による状態変化をグラフ化したものである。各クラス左図では横軸に各要素を並べて時間とともに状態が変化する様子を表示している。各クラス右図では、系全体のエントロピー(0からMax)を横軸にとっている。



クラス2
(秩序領域)

クラス4
(カオスの縁)

クラス3
(カオス領域)

ラングトンらは、クラス1,2を秩序領域、クラス4をカオス領域、クラス3を「カオスの縁」と呼んだ。

$\lambda=0.273$ を境に、秩序領域が、カオス領域へと「相転移(※水が100度で沸騰するように、ある物理条件で状態が一変すること)」するとも表現できる。

「カオスの縁」は豊かな領域、生命の息づく領域である、この領域内では、要素全体は、特定の平衡状態に落ち着くことはなく、つねに「豊かさ」を生み出していく。

機械論的世界観=秩序、確率論的世界観=カオス、その2つの領域の間に、人類が探していた豊かな領域がある。そしてその領域は急峻で、秩序かカオスのどちらかに転げ落ちやすい刃の上のような場所である。

森田 拓也(市民局市民活動支援課主査)

「住宅再建ヘルパー派遣事務所」のお知らせ

～住宅の再建でお困りの方を応援します～

主な業務内容

- ①当事務所での再建相談
- ②住宅再建ヘルパーの派遣
 - ・まちづくり協議会主催の相談会や勉強会
 - ・住宅再建についてお悩みの方々
- ③区役所相談会の開催 他

主な相談内容

- ①融資制度等の資金計画のアドバイス
 - ・公庫融資制度、利子補給制度の内容や手続き
 - ・返済計画 他
- ②再建のための借地権更新等に関するアドバイス
- ③建築基準法等に適合させるためのアドバイス

詳しくは、「住宅再建ヘルパー派遣事務所」にお問い合わせください。
 TEL078-643-3881 〒653-0842 神戸市長田区水笠通2-4-16
 開設時間 午後1時～午後5時 定休日 水・日曜日



まちづくり会館からのお知らせ

こうべまちづくり会館 地階ギャラリーの予定

期 間	内 容・テ ー マ	主 催 者
6月1日(木)～6日(火)	KOBEパステル画会展 (KP展)	KOBEパステル画会
6月8日(木)～13日(火)	西神土葉会展 (油彩)	西神土葉会
6月15日(木)～20日(火)	兵庫県書作家協会書道展	こうべまちづくりセンター企画展
6月22日(木)～27日(火)	光風会神戸グループ展 (洋彩)	光風会神戸グループ
6月29日(木)～7月4日(火)	三滴会こうべ書道展	三滴会

こうべまちづくり会館 1階オープンギャラリーの展示

6月1日(木)～30日(金)	土砂災害防止月間展	建設省六甲砂防工事事務所
6・7月第2日曜 午後2時・4時	パチュニアサロンコンサート	元町4丁目商店街・アスク音楽院 こうべまちづくりセンター

図書販売のお知らせ

コンパクトシティ持続可能な都市形態を求めて	¥3,000	別途送料を申し受けます。 申し込みは、当センターまで
協働のまちづくりすまいづくり	¥1,500	

すまい・まちづくりのご相談は

- すまい・まちづくり人材センター
 (こうべまちづくり会館 3F)
 電話 078-361-4377 FAX 078-361-4584
 受付は、月・火・木・金曜の午前10時～午後5時
- 土・日・祝日は
 まちづくり相談コーナー で受け付けます
 (こうべまちづくり会館4F)

自治会活動などのご相談は

- コミュニティ相談センター(まちづくり会館4F)
 会報等の印刷サービスや学習会へのインストラクター派遣など
 受付:午前10時～午後6時(水曜・年末年始は休館)
 電話 078-361-4565



〒650-0022

神戸市中央区元町通4丁目 2-14

電話 078-361-4523

FAX 078-361-4546